

釧路市PTA連合会

KUSHIRO No. 31

●発行/釧路市PTA連合会 ●事務局/釧路市城山1-14-35 城山小学校内 ☎(0154)41-1502 ●編集/市P連広報・情報専門部会 ●印刷/木内印刷有限会社

地元商店街皆様のご協力のもと、「子ども体験事業」を開催しております。



お疲れ
さまでした

- 市P連役員**
- 顧問 吉田 信二(留任)
 - 会長 住尾 盛(留任)
 - 副会長 栗本 一宏(新任)
 - 副会長 北村 徹(新任)
 - 副会長 山木さより(留任)
 - 副会長 大越 拓也(留任)
 - 副会長 藤川 岳(新任)
 - 副会長 川内 雅恵(留任)
 - 副会長 合田 晃子(新任)
 - 副会長 小嶋 厚博(新任)
 - 副会長 梁瀬 之弘(新任)
 - 副会長 柏葉 貞治(新任)
 - 副会長 橋川 敏子(新任)
 - 副会長 尾崎 文雄(新任)
 - 副会長 松並江里子(新任)
 - 副会長 武田 誠一(新任)
 - 副会長 岩田 恵美(留任)
 - 副会長 岩田 恵美(留任)
- 各専門部会委員長**
- 研修専門部会 委員長 松並江里子(新任)
 - 健全育成専門部会 委員長 武田 誠一(新任)
 - 広報情報専門部会 委員長 岩田 恵美(留任)



講師

文部科学省初等中等教育局参事官付企画官

出口 寿久氏

演題

「地域とともにある学校づくり」

〈コミュニティ・スクールとは?〉

- ①保護者や地域の住民が学校運営に参画する「学校運営協議会」の置かれた学校
- ②役割
- (ア)学校運営の「基本方針」を承認する
- (イ)教育委員会や校長に見えよう
- (ウ)教職員の任用に関し、教育委員会に意見(教育委員はその意見を尊重)

〈中教審での提言〉

- ・学校の自主性・自立性を確立し、校長の裁量権の拡大を提言
- (日10中教答申「地方教育行政」)
- ・家庭や地域社会との連携を深め、家庭や地域社会とともに子供たちを育成する「開かれた学校となる」よう提言
- (日8中教答申「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」)

〈開かれた学校とは〉

- ・学校の施設や機能を社会教育や地域活動に広く開放
- ・学校施設をオープン化するなど主に学校建築上のアイデアの側面
- ・学校の管理・運営への地域・保護者の意見の反映等開かれた学校経営への努力

〈学校と地域社会・家庭との関係が重視される背景〉

- ・学校五日制と学校のスリ

講師

文部科学省初等中等教育局参事官付企画官

出口 寿久氏

演題

「地域とともにある学校づくり」

- ・ム化の観点
- ・カリキュラム編成の観点
- ・問題行動対策の観点
- ・学校の創意工夫の観点
- ・生涯学習の観点
- ・地域活性化の観点
- ・学校教育の限界

求められているテーマエや形式的でない実質的な連携

〈地域・家庭の学校参加の意義〉

- ・保護者には我が子に対する教育権が認められている
- ・保護者や地域住民の意向は、学校や教師の偏見や独断を調整する役割を果たす
- ・保護者たちの意見が学校の教育活動をより効果的にするためのアイデアとなる
- ・保護者や地域住民が学校の子育てに対する自覚を高めることが期待される

〈実質的なパートナーシップへの発展〉

- ・地域社会・家庭との新しい関係
- ・学校は、地域社会・家庭の対等な関係をもつ
- ・学校は、地域社会や家庭と協働機能を有する関係をもつ
- ・一時的・一時的でなく恒常的な関係を結ぶ
- ・地域への広報活動
- ・意見交流の場の設定
- ・学校当事者による合意形成
- ・地域社会への協力の要請

〈実施例〉

〈東京都三鷹市〉

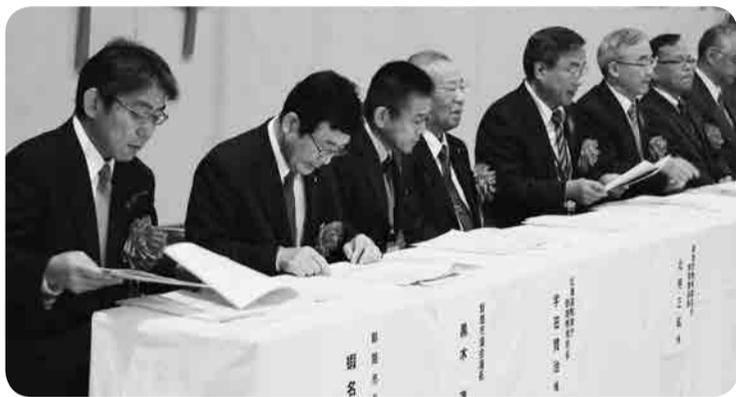
- ◆小中9年間の子供の育ちを、地域ぐるみで支援し、学力向上に成果
- 各小中学校の地域住民が小中一貫教育校(「学園」)の学校運営について一体となって協議・支援

〈東京都世田谷区(用賀中学校)〉

- 平成20年度までに市内全22校を指定し、全中学校区で小中一貫コミュニティ・スクールを推進
- ↓学校運営協議会の実働組織(学習ボランティア等)の協力等により、教育支援が充実し、学力向上に成果

〈福岡県春日市(春日西中学校)〉

- ◆生徒指導上の課題等を、学校、家庭、地域の連携で解決
- 中学校区内のコミュニティ・スクール間で、生徒指導上の課題等について課題を共有し、その解決に向けて協働
- 「サポート地域本部」を中心に三つの(学習・安全・環境)の支援を充実
- ↓住民による地域パトロールの徹底により、補導件数が激減



第56回 釧路市PTA連合会研究大会

～21世紀を担う子どもたちを育てるPTA活動～

平成25年10月26日 北中学校



講師

NPO教育支援協会代表理事

吉田 博彦氏

演題

「コミュニティ・スクールと私たちの町の未来」

1. 今、学校の何が問題なのか

- ①まず日本の学校は世界的にはうまく行っているという相対的評価は必要
- ②80年代からの教員叩きは教育現場を萎縮させただけ↓公務員批判と教師批判が混同された
- ③教育の増加が学校の機能を低下させた↓学校のスリム化が急務
- ④「学校への適応は社会への不適応」という現実がある

2. どう対応するのか

- ◆「学びのコミュニティとしてのコミュニティ・スクール」
- ↓世の中には色々な人がいて、お互いに助け合いながら世の中の一つ一つの問題や課題を乗り越えていくこと、そのために人と関係性をしっかりと築けることが「生きる力」の大切な要素
- ↓そのために必要な「学びのコミュニティ」
- ◆「学びの場としてのコミュニティ・スクール」
- ↓「学びの場」としてのコミュニティ・スクールは「学びの場」としてのコミュニティ・スクール
- ◆「教育という言葉を使わないで、「学ぶ」という言葉が大切
- ◆「コミュニティ・スクールの運営」
- ↓今の教育現場の抱えている多くの課題の克服
- ◆「コミュニティ・スクールの3つのフェーズ」
- ↓第一段階としての土曜日から放課後のみボランティアがかかわる放課後子ども教室事業
- ◆「コミュニティ・スクールの3つのフェーズ」
- ↓第二段階としての学校支援地域本部の設立
- ◆「コミュニティ・スクールの3つのフェーズ」
- ↓第三段階としての地域運営学校、狭義のコミュニティ・スクール
- ◆「コミュニティ・スクールの3つのフェーズ」
- ↓第四段階としての学校をプロデュースしていく段階へ



- ◆「学校の現実」
- ▼学校教育は教える方が教えやすいようにカリキュラムや教材をつくる傾向がある↓子ども学習権という視点へ
- ◆「コミュニティ・スクールの最大のテーマ」
- ▼「学校教育は教える方が教えやすいようにカリキュラムや教材をつくる傾向がある↓子ども学習権という視点へ」
- ◆「学校選択制とコミュニティ・スクール」
- ▼学校選択制とコミュニティ・スクールの違い
- ◆「学びのコミュニティとしてのコミュニティ・スクール」
- ▼世の中には色々な人がいて、お互いに助け合いながら世の中の一つ一つの問題や課題を乗り越えていくこと、そのために人と関係性をしっかりと築けることが「生きる力」の大切な要素
- ◆「コミュニティ・スクールの3つのフェーズ」
- ▼第一段階としての土曜日から放課後のみボランティアがかかわる放課後子ども教室事業
- ◆「コミュニティ・スクールの3つのフェーズ」
- ▼第二段階としての学校支援地域本部の設立
- ◆「コミュニティ・スクールの3つのフェーズ」
- ▼第三段階としての地域運営学校、狭義のコミュニティ・スクール
- ◆「コミュニティ・スクールの3つのフェーズ」
- ▼第四段階としての学校をプロデュースしていく段階へ

- ◆「コミュニティ・スクールの3つのフェーズ」
- ▼第一段階としての土曜日から放課後のみボランティアがかかわる放課後子ども教室事業
- ◆「コミュニティ・スクールの3つのフェーズ」
- ▼第二段階としての学校支援地域本部の設立
- ◆「コミュニティ・スクールの3つのフェーズ」
- ▼第三段階としての地域運営学校、狭義のコミュニティ・スクール
- ◆「コミュニティ・スクールの3つのフェーズ」
- ▼第四段階としての学校をプロデュースしていく段階へ

- ◆「コミュニティ・スクールの3つのフェーズ」
- ▼第一段階としての土曜日から放課後のみボランティアがかかわる放課後子ども教室事業
- ◆「コミュニティ・スクールの3つのフェーズ」
- ▼第二段階としての学校支援地域本部の設立
- ◆「コミュニティ・スクールの3つのフェーズ」
- ▼第三段階としての地域運営学校、狭義のコミュニティ・スクール
- ◆「コミュニティ・スクールの3つのフェーズ」
- ▼第四段階としての学校をプロデュースしていく段階へ



知らなかった!!

子どもたちのケータイ事情のぞいてみませんか?

ネットモラル

●とき 平成25年9月12日
●ところ 釧路市生涯学習センター

講師



村上 周平氏

eネットキャラバン
推進センター
KDDI(株)北海道総支社



1. 個人情報の漏洩

- ・写真をアップしたらGPS情報が付いていたため居場所が漏洩。
- ・掲示板などに学校名、住所、年齢、写真など安易に個人情報を書込み。
- ・友達が個人情報をバラした。

〈対策〉

- ・GPSは当初の設定でオフしておく。
- ・自分のも他人のも個人情報

2. 知らない人からネット上での攻撃

- ・迷惑メール・ID公開などにより迷惑メールを受信。
- ・掲示板などに出会い系サイト、ウイリスの入ったソフト紹介等の違法有害情報を含むURLを掲載し、クリックを誘導。

〈対策〉

- ・サイト内でID検索機能をオフしておく。(検索されないように)
- ・知らない人の紹介アプリ等のURLは開かない。
- ・フィルタリングを入れる。
- ・ウイルスソフトを入れ、常にアップデートしておく。
- ・OS、アプリの更新を常にアップデート。

3. 友達間のトラブル

- ・未熟な書き込みによる誤解からのトラブル。
- ・意図的な悪口等の書き込み。
- ・友達間のイジメに利用。

〈対策〉

- ・学校でのネットマナー教育、いじめの防止教育。
- ・ネットの付き合いもリアルなネットいじめもリアルないじめの延長上にあることが多い。
- ・家庭内の子供とのコミュニケーションを通じ、子供の様子に関心を持ち、悩みを聞き出し、振り返りや励ましをする。
- ・いじめのメール等は残しておく。
- ・専門家(カウンセラー、相談機関、警察等)へ相談。

〈対策〉

- ・親切に見える相手も「なりすまし」「騙し」など悪意があることがあることを知っておく。
- ・保護者はクレジットカードの管理は厳重に。
- ・限度額を設定(携帯事業者、サイト内での限度額設定)。
- ・ネット売買などお金がかかるものはたくさんある。「騙しのテクニック」があることを教える。
- ・特に努力なく儲かる話、自制心を育成するよう、家庭内ルールを作る。

講師



松本 孝也氏

釧路研究センター 研究員

釧路の子ども達のケータイ所持は...

- 小学生で約5割!
- 中学生で約5割!
- 中学校入学とともに、人数が増える。また、学年が進むにつれて所持率も少しずつ上がっていく、中学校2年生で5割を超えます。

〈気をつけたい最近のハナシ...〉

- 通話やメールだけ気をつけられたい訳じゃない!
- こんなことがあるってご存じですか?
- ◆ゲーム機だつてネットにつながる?
- 最近のゲーム機の多くは、インターネットにつながる事ができます。中にはメッセージや写真のやり取りが出来るゲームもあります。ゲームだからって油断してはいませんか? 特に無線LAN(Wi-Fi)の環境の整ったお家は要注意です!!
- ◆動画をダウンロードしたら捕まることもあるの?!
- 平成24年10月から、改正著作権法が施行され、違法にアップロードされた動画や音楽のファイル、違法と知りつつダウンロードすると、2年以下の懲役、または200万円以下の罰金などが科される場合があります。何でも無料なら...とダウンロードしている、犯罪者になる恐れがあります。
- ◆スマホは特に要注意!!
- (どんなアプリ使ってるか知ってますか?)
- 急速に普及しているスマートフォンですが、情報の漏洩には携帯以上に気を遣う必要があります。特にアプリをインストールするときは、許可する権限をチェック。「電話発信」や、「個人情報」などの権限が要求されていたら、もしかしたら不正アプリかも? 本当にそのアプリが必要なのかをよく考えてインストールしましょう。

釧路市PTA連合会研修会 ●とき 平成25年10月9日 ●ところ コア鳥取

講師



北海道教育大学釧路校
准教授 二宮 信一氏

発達障害のある子どもの理解と支援 ～通常学級にいる苦戦している子ども達～

〈発達障害のわかりやすいサイン〉

- (1) 健常児との連続性の中に存在。
- (2) 加齢、発達、教育的介入により臨床像が著しく変化。
- (3) 障害の合併という現象が生じやすい。
- (4) 視点の異なりから診断が相違する。
- (5) 理解不足による介入の誤りが生じやすい。
- (6) 問題行動が増える悪循環。
- (7) 二次的に情緒的な問題や精神科的な問題を併発する。

〈障害を捉える二つの視点〉

カテゴリー概念
基準に基づいて、行動特徴や発達歴から診断名がつけられる。
↓ 障害があるか、ないか
スペクトラム概念 (連続体)
典型的な障害のある状態から、健常に至るまでの連続した一続きのものとして捉える。
↓ 障害の程度が強い、弱いかな

〈社会的適応との相関〉

- ・個人因子に大きな困難を抱えていても、社会的に適応していれば、あえて支援は必要ないかもしれない。
- ・個人因子に小さな困難を抱えていても、社会的に適応できていないのであれば、支援を必要とするのかもしれない。

〈LDの定義〉

- ① 基本的には、全般的な知的発達の遅れはない。
- ② 聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態。
- ③ 中枢神経系に何らかの機能障害があると推定。
- ④ 環境的な要因が直接の原因となるものではない。

〈ADHDの定義〉

- ① 年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、衝動性、多動性。
- ② 社会的な活動、学業の機能に支障。
- ③ 7歳以前に現れ、状態が継続。
- ④ 中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定。

〈指導のねらいとポイント①〉

新しい「本人と環境との関係」を定常的に構築すること
↓ 悪循環の切斷
↓ 悪化防止の環境設定
↓ 不適切な行動の直接的な低減
↓ 代替行動の形成

〈指導のねらいとポイント②〉

1. ネガティブな関わりから、ポジティブな関わりへ
↓ 「ほめて」育てる
2. 不必要な刺激を除去する
↓ 教室環境の見直し
3. 不適切な行動を生じさせない
↓ 後手に回らず先手を打つ
4. 「してほしい行動」の選択肢を増やす
↓ 「提案」と「成功体験」

〈指導のねらいとポイント③〉

プロアクティブな指導モデルへ
問題対処型による指導モデル
↓ 不適切な行動が起きるから、問題に対処する(適切な行動は教えられる)

プロアクティブな指導のモデル
↓ 不適切な行動の生起に先行して、様々な計画を行い実行すること、ニーズとのズレが起らないよう修正すること

〈高機能自閉症の定義〉

- ① 3歳位までに現れる。
- ② 他人との社会的関係の形成の困難さ。
- ③ 言葉の発達の遅れ。



〈社会性の発達に遅れのある子ども〉

- 対人関係の質的な問題または社会的相互反応の問題
- 人との関わり方の問題
- ・視線が合わない
- ・距離感がつかめない
- ・リズムが合わない
- ・同年代同士の交流を避ける

〈コミュニケーションが苦手な子ども〉

- 表現能力・TPOに合わせた調節ができない
- 言語理解・語用論的な言語理解の困難
- 非言語コミュニケーション
- 言葉以外の表現媒体の理解が困難、表出が困難



☆子ども向け相談窓口☆

- ◆24時間いじめ相談ダイヤル
電話 0570-0-78310
※通話有料
- ◆チャイルドライン(18歳まで専用)
電話 0120-99-7777
※通話無料

〈第1回〉広報紙展示会のようす

●とき 平成25年10月26日 ●ところ 北中学校



展示会COMMENT紹介

釧路小学校

合併して二年目の広報紙でした。この年は文章よりも子ども達の写真をできるだけたくさん載せた方が、大人も子どもも興味を持って見てくれるのではないかと考えた。委員が文章を書くという作業がほとんどありませんでした。「レイアウトがすっきりして見やすい」という理由で賞をいただきました。他校に比べ文章がほとんどない釧路小広報紙が佳作に選ばれた事は、一同に驚き喜んだ思い出の作品でした。

美原小学校

美原小学校広報紙第97号です。この広報紙は、釧路市PTA連合会広報紙コンクールで佳作をいただき、北海道PTA連合会広報紙コンクールでは奨励賞をいただきました。

製作過程では、特にレイアウトに工夫をし、今までにないレイアウトにこだわりました。広報紙の基本である学校での子供達の様子や、PTA活動内容など皆様に知って頂きたい情報を取材し、制作にあたりました。

美原小の広報紙の中でも自信の広報紙です。

光陽小学校

昨年度発行の広報紙139号は釧路市P連主催の広報紙コンクールにて最優秀賞を頂く事ができました。私たち光陽小PTA広報部は、部長さんがとても熱心に活動して下さいます。アンケートで学校や家庭での様子を収集し、グラフで表示する等、少しでも解りやすく伝えたいなどの思いで毎号楽しく編集作業を進めています。「？」から始まり「やってみよう！」にかえる広報紙、ネタは尽きず、できた時の喜びもひとしおです。

平成25年度市P連二年間の主な行事

平成25年5月9日
市P連定期総会

平成25年6月6日
市P連委員総会、
第一回専門部会

平成25年7月11日
市P連広報・
情報専門部会研修会

平成25年7月23日
市P連運営委員会

平成25年9月12日
市P連健全育成会講演会

平成25年10月9日
市P連研修委員会研修会

平成25年10月26日
市P連研究大会、
母親研修会、
第一回広報紙展示会

平成25年11月9日
チャイルド・D・A・Y仕事体験

平成25年12月20日

市P連広報紙第139号発行

平成26年3月上旬
市P連運営委員会、反省会予定



平成24年度
市P連広報紙コンクール入賞校

〈最優秀賞〉

●光陽小学校

〈優秀賞〉

●美原中学校

※道P連広報紙コンクールにて優秀賞。
北海道公立学校教頭会賞

●附属釧路中学校

〈佳作〉

●美原小学校

※道P連、奨励賞

●幣舞中学校

※道P連、奨励賞

●鳥取西中学校



第1回展示会で活躍したメンバー

▼私たち広報委員会は、今年にはあらたな気持ちで31号を発行する事に決めスタートしました。▼昨年度は記念号として取り組んだ30号がきっかけとなりました。今回は私たちがみずから取材し記事を書き読み手側になった紙面になるように工夫しました。▼今年度は広報委員の念願だった第1回広報紙展示会を盛大に開催することができました。(研究大会北中にて)▼広報委員のみならず方々の方々の努力のたまものので、本当に疲れさせました。(I)

編集後記